

も其優劣の程度は遙に鐵よりも高く全世界の銅産額の優に半を占む、日本、墨國の如き銅産國にして尙漸く其一割を産するに過ぎず、今此の如き地位にある國か銅に關する關稅政策を吟味し之を鐵と對照するは無用に非る可し。

銅に關する米國の關稅は鐵關稅の複雑多岐なると大に趣を異にし、纔に一目の下に數種の銅製品を一括して課稅し其率又頗る低し、銅に關して何か故に關稅法か平明簡單にして輕率なりやと云ふに米國の銅産額は鐵産額よりも其百分率に於て他國を凌駕すること大なり、之れ原料銅に課稅せざる所以なり、且つ銅を原料とする生産事業は鐵を原料とするものよりも容易に且つ單純にして既に米國に於ても大に發達し保護關稅を課して之を保護する必要なきと現今工業國と稱せらるゝ英、佛、獨、白等は原料の僅少なるか爲に銅工業に於て米國と覇を争ひ難し、之れ即ち米國か銅製品の關稅に重きを置かざる所以なり。

然るに鐵に關する地位は之と大に異れり、即ち鐵産額も亦世界の首位を占めたりと雖、尙銅に於けるか如く安んずべきものに非ず、殊に新興の獨逸帝國に於ける鐵産額の増加率は米國をして頗る戒心せしむべきものあり、加ふるに鐵工業は銅工業に比して甚だ複雑を極め其發達又一朝一夕に之を期することを得ず、之れ米國か高率複雑なる關稅により他國との競争に備へ以て自國工業の發展を期したる所以なり、其背後にありて United States Steel Corporation か巨大なる資本力を利用して稅率決定に或種の勢力を及ぼしつゝあるは敢て之を贅するを要せざるへし。

米國の關稅制度は諸外國の物議を醸すこと多し、稅率に關する批難は姑く之を置くも尙領事仕切制度の如き論難頗る喧し、此制度は輸出工業者を強要して其工場の秘密を告白せしむる經濟上の探偵方法となすなり。

露西亞は一八二一年の關稅表により鐵及鐵製品に禁止的關稅を賦課せり、且つ海外よりする原料鐵並に棒狀鐵は全然之か輸入を禁止したり其後幾多の變遷を経て以て今日に及へり。露國の現行關稅表は一九〇三年一月十三日露帝の裁下を経たるものにして一九〇六年三月一日より實施されしものなり。

概して露國の鐵關稅は他國に比して簡單なり。而して亦有名なる鐵產國なり、然かも軌鐵其他の鐵工作品は他國に比して多からず、依之觀是、露國の未だ發達せざるか爲め鐵を原料とする内國生産物を擧げて内國に於て生産するの策を建つるには未だ早しとなすにあるか如し。

翻て同國の銅に對する政策と對照するに、銅の關稅は鐵よりも遙に高し、之れ銅工業か鐵工業よりも發達して既に之に保護を加ふる必要あると、且つ銅の需要か鐵の如く緊切ならざるに依る可しと解するを正しとするか如きも、元來露國は歐洲の幼兒なり一切のこと未だ草創に屬す、關稅の如き必しも一定の計畫企圖の下に定められしものと見難き點多し、即ち銅鐵其他に於ても十把一束的に規定し去り眞に其國情、就中産業の狀態に適合せざるなり故に露國の國稅より直に露國政策の大綱を推斷するか如きは頗る早計に似たり。

七、伊 太 利

鐵鑛供給

伊太利は歐羅巴の大國中鐵石炭に最も乏しき國なり、殊に石炭に乏し、鐵鑛はエルバ島其他に多少之を産し近時に至るまで歐羅巴市場に或程度の聲價を有せり。

然るに自國鐵鑛を自國に於て製煉せんとする政策を執るに至り鐵産額か著く増大せしに拘らず